

長崎警察署協議会令和6年度第2回会議議事概要

日 時	令和6年7月24日(水) 13時30分～15時30分
場 所	長崎警察署講堂
出席者	<p>1 協議会 林田会長 唐島委員 近藤委員 岳野委員 平田委員 松尾委員 三田村委員</p> <p>2 警察署 多田署長 森重刑事生活安全官 東警務課長 江頭生活安全課長 蒲川交通課長</p> <p>3 書記 警務係長</p>
会議の状況	<p>1 提出意見に対する推進状況について 署長から、令和6年度第1回定例会における提出意見に対する推進状況について、次のとおり説明があった。</p> <p>(1) 「ゴールデンウィーク中における快適な交通環境の維持」について</p> <p>ア 交通管制センターとの共働による交通対策を推進した。</p> <p>イ 長坂上り大会（諏訪神社）での交通安全講話を実施した。</p> <p>(2) 「若年層に対する見守り活動の推進」について</p> <p>ア 繁華街のパトロールを強化した。</p> <p>イ 街頭補導活動を推進した。</p> <p>ウ 声掛け事案等に対する広報、警戒及び行為者特定活動を推進した。</p> <p>エ 修学旅行生に対する安全対策を推進した。</p> <p>オ 専門学校生に対する生活安全指導を実施した。</p> <p>(3) 「警察安全相談に係る広報活動の推進」について</p> <p>ア キャンペーンにおける広報チラシを配布した。</p> <p>イ SNSを利用した広報を実施した。</p> <p>ウ ミニ広報紙に警察相談窓口を掲載した。</p> <p>2 令和6年4月から6月までの業務重点推進結果について 署長から、次のとおり説明があった。</p> <p>(1) 市民が安全で安心して暮らせる犯罪の起きにくい社会づくりの推進</p> <p>ア 犯罪なく3ば運動推進モデル事業所の指定</p> <p>イ 防犯キャンペーンの実施</p> <p>ウ 福祉施設における不審者対応訓練の実施</p> <p>エ 防犯講話の実施</p> <p>(2) 事件検挙の推進</p> <p>ア 生活安全課関係</p> <p>イ 刑事第一課関係</p> <p>(ア) 窃盗事件の検挙状況</p>

<p>会議の状況</p>	<p>(イ) 凶悪・粗暴・性犯罪等事件の検挙状況</p> <p>ウ 刑事第二課関係</p> <p>(ア) 知能犯関係の検挙</p> <p>(イ) 組織犯罪対策関係の検挙</p> <p>エ 交通課関係</p> <p>(ア) 飲酒運転関係の検挙</p> <p>(イ) 交通事故関係の検挙</p> <p>(3) ニセ電話詐欺対策の推進（被害防止・検挙）</p> <p>ア 被害防止</p> <p>(ア) 年金支給日における防犯キャンペーンの実施</p> <p>(イ) ニセ電話詐欺被害防止講話の実施</p> <p>(ウ) 自動通話録音（警告）機（通称「撃退機」）の設置促進</p> <p>(エ) 被害防止功労者に対する署長感謝状等の贈呈</p> <p>イ 検挙状況</p> <p>(4) 総合的な交通事故抑止対策の推進</p> <p>ア 子供（新入学児童）の交通事故抑止対策の推進</p> <p>(ア) 広報啓発活動の実施</p> <p>(イ) 通学路における交通指導の実施</p> <p>(ウ) 交通安全教室の実施</p> <p>イ 交通安全施設点検の実施</p> <p>(5) 梅雨期に伴う災害警備諸対策の推進</p> <p>ア 関係機関との連携</p> <p>イ 災害用装備資機材操法訓練の実施</p> <p>ウ 災害広報活動の推進</p> <p>3 業務重点推進計画について</p> <p>署長から、次のとおり説明があった。</p> <p>(1) 少年の非行防止活動の推進</p> <p>(2) 事件検挙の推進</p> <p>(3) ニセ電話詐欺対策（被害防止・検挙）の推進</p> <p>(4) 総合的な交通事故抑止対策の推進</p> <p>(5) 台風期に伴う災害警備諸対策の推進</p>
<p>提出意見</p>	<p>1 夏休み期間中における子供の安全対策の推進</p> <p>夏休みに入り、子供被害に係る犯罪の抑止や交通・水難事故防止、声掛け事案への対応など、幅広く子供の安全対策を推進してもらいたい。</p> <p>2 夏季期間中における交通対策の推進</p> <p>お盆の帰省や祭りの開催など、イベントで人も車も増えたり、スタジアムシティ開業前で様々な交通対策が必要であったりするので、交通取締りや渋滞などの交通対策を推進してもらいたい。</p> <p>3 薬物対策に係る広報活動の推進</p> <p>薬物事案を身近に感じるので、シーシャバーなどの営業者を始めとした各方面に対して広報活動を推進してもらいたい。</p>